

施策フレーム4

『水と緑との共生方針』

日和田山や高麗川の清流、市内に広がる里山など市民にとってかけがえのない豊かな自然は、人々の心に安らぎや潤いをもたらしています。また、清流に飛ぶカワセミなど、様々な生物の生育空間としても重要な役割を果たしています。

ここでは、これら本市の豊かな自然環境をまちづくりの特色として取り入れ、緑あふれるまちのイメージを理想像とした水と緑との共生を推進していくため、次の6つの基本テーマにより方針を定め、施策・事業を進めていきます。

**【まちづくりの基本テーマ】**

- 4-1 豊かな自然環境の保全（v-4）
- 4-2 河川環境の保全と水辺にふれあえる環境の充実（v-3）
- 4-3 利用しやすい公園づくり（v-1）
- 4-4 街なか緑化の推進（v-2）
- 4-5 健康的な生活を支えるための施設整備（ii-4）
- 4-6 低炭素都市づくりへの取組（v-5）

※まちづくりの基本テーマの右側に記載している記号（例（v-4））は、まちづくりの方針（P.25～27）に対応する箇所を示しています。

**「緑の拠点」と「緑のネットワーク」の形成**

施策フレーム4『水と緑との共生方針』を推進していくために、歴史文化との関わりの深い街路樹や、市民により大切に守り育てられている公園緑地・河川・山林などを「緑の拠点」に位置付けます。

また、それら拠点を結びつける道路・河川・ハイキングコースなどを水と緑を感じふれあいながら移動できる空間として「緑のネットワーク」に位置付けます。



都市計画道路南平沢田波目線の街路樹（緑のネットワーク）

## 基本テーマ4-1

## 豊かな自然環境の保全

### 方針の考え方

- 本市の豊かな自然環境は、市民にとってかけがえのない財産です。その大切な財産である自然環境と生態系を大切に守り、育て、次世代に引き継ぐため、豊かな自然環境と調和したまちの実現を目指します。

### 方針

#### ①良好な自然環境の保全

- ◆日和田山や高麗川などの山林・水辺に残る良好な自然環境の保全を図ります。
- ◆県立奥武蔵自然公園の自然環境の適正な保全を図ります。

巾着田から  
見た日和田山



巾着田曼珠沙華



#### ②山林の適正管理

- ◆西部に広がる山林については、保水による洪水緩和と湧水緩和機能である水源かん養機能を重視し、適切な管理を促します。

#### ③武蔵野の面影を残す里山・まとまりのある樹林地などの保全

- ◆主に東部に広がる里山や、まとまりのある樹林地及び屋敷林は、今も武蔵野の面影を残し、市民に憩いと安らぎの場を与えていることから、身近で貴重な緑地空間として適切に保全していきます。

#### ④自然を生かした観光・レクリエーション地域の保全・整備

- ◆四季折々の自然を楽しめる巾着田・高麗川・日和田山などは、自然・生態系を生かした観光・レクリエーション地域として保全・整備を図ります。

#### ⑤ボランティア活動による自然環境の保全

- ◆「ふるさとの森」である日和田山や市内に点在する里山に残された自然環境をボランティアにより維持していくための環境を整えます。

日和田山での  
ボランティア活動



#### ⑥子どもたちの学習の場

- ◆多様な動植物が生息する自然環境の大切さについて、子どもたちの学習、体験の場として市民ボランティアなどと連携した支援を行います。

#### ⑦計画的な自然環境の保全

- ◆市民の大切な財産である豊かな自然環境を将来にわたって大切に保全していくため、民間の力を活用した各種制度の活用も検討します。

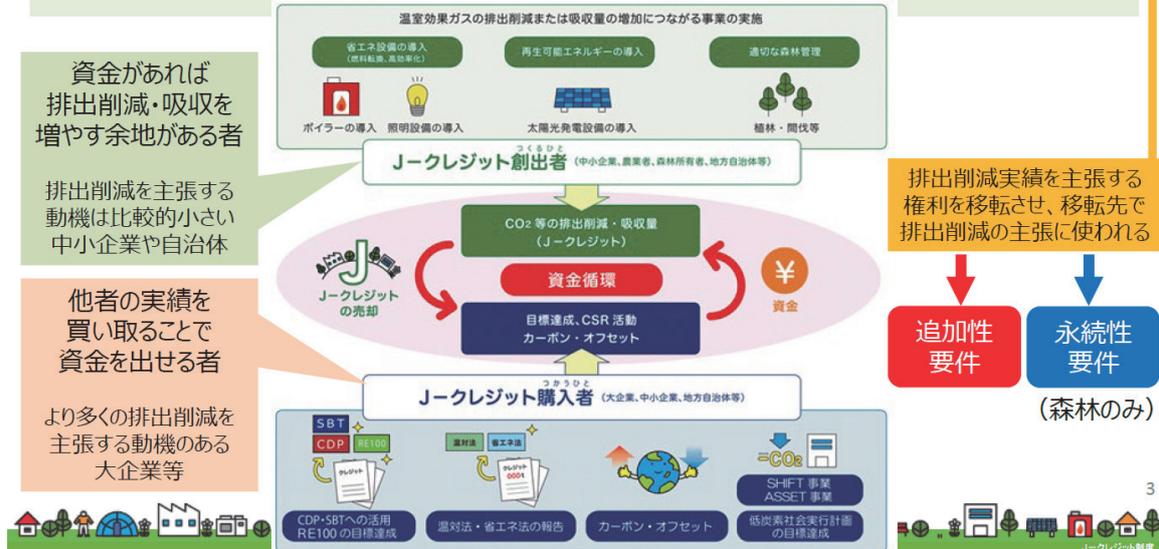
コラム クレジット販売収益を活用した次世代に引き継ぐ森林づくり

三重県大台町では、J-クレジット制度において、令和2年度分1,412トンのCO2吸収量の認証を受けています。今後順次クレジットの認証手続きを行っていく予定です。このクレジットの販売収益は、その資金がどのように地域振興に役立っているか明らかにするために、「大台町自然との共生基金」に積み立てる事により管理し、自然環境や生活環境の整備保全のほか、地域振興のための資金として活用しています。

オフセット・クレジットの販売収益は、購入企業等の地域貢献の資金と捉え、下記の5つの事業に還元しています。行政、企業、住民の一体的な取組を進めることで、社会全体の地球温暖化防止対策の促進と、地域雇用の確保や経済の活性化につながっていきます。

- 自然環境の整備保全
- 集落対策（地域づくり）
- 生活環境の整備
- 地域の団体や人材育成
- 社会貢献活動への協力

- ・ J-クレジット制度とは、省エネ・再エネ設備の導入により排出削減されたり、森林管理により吸収されたりしたCO2等の量（t-CO2単位）を認証し、認証分の「クレジット」を発行する国の制度。
- ・ クレジットは、排出削減実績を主張する権利を「証券化」したようなものであり、自らも排出削減に努めているが、もっと（実態以上に）排出削減した“ことにしたい”者へ、**移転・売却することが可能**。
- ・ こうした売買が、クレジットの創出者と購入者との間の自由取引（量も価格も自由）で行われることにより、「市場メカニズム」の下、地球温暖化対策の資金を循環させ社会全体で最適に配置させることが目的（認証それ自体、あるいは認証を通じた排出削減・吸収の“称揚”が最終目的ではない）。



出典：林野庁ホームページ

図 J-クレジット制度の概要

方針の考え方

■高麗川や小畔川などの市内を流れる河川は、洪水被害の防止などの生活を守る機能や市民の日常生活に潤いをもたらすなど多面的な役割を果たしています。そのため、護岸の構造などについては、周囲の自然や生態環境との調和に配慮しつつ、市民が水辺にふれあえる場を創出しながら河川の整備・活用を図ります。

方針

①治水のための河川整備

◆台風や集中豪雨など、河川の増水による被害を未然に防ぐため、護岸などの河川整備を促進します。

②「水と緑のふれあい軸」と「ふれあいスポット」の整備

- ◆一級河川高麗川・宿谷川や小畔川などの主要な河川は、「水と緑のふれあい軸」に位置付け、緑のネットワークを形成します。
- ◆小畔川などの市民の生活に身近な河川は、親水機能を備えた護岸の整備を図り、日常的に水辺にふれあえる空間を創出します。
- ◆高麗川については、ハイキングコースや快適に水辺にふれあえる「ふれあいスポット」を設定し、親水機能の整備を促進します。

③協働による保全

◆小畔川などの市街地を流れる河川は、地域との連携を踏まえ、協働により身近な水辺空間を守り育てる環境を整えます。



高萩地内の小畔川

④自然環境の保全

◆カワセミなどの野鳥や水生動植物などの生息空間として貴重な河川について、多自然型川づくりにより、自然環境の保全に努めます。



市の鳥「カワセミ」

⑤水質保全への取組

◆公共下水道の普及促進と合併浄化槽の適正な管理により、河川・水路及び地下水の水質保全に取り組めます。

## 基本テーマ4-3 利用しやすい公園づくり

### 方針の考え方

- 子どもの遊び場や散策・市民の交流の場など、市民の多目的な利用を考慮し、誰もが安心して快適に利用しやすい公園をつくります。
- 地域の共有財産である公園・緑地は、市民自ら育てる意識の向上により、个性的で親しみの持てる空間づくりを目指します。

### 方針

#### ①子どもが安心して安全に利用できる公園づくり

- ◆ 子どもが安心して遊べる公園となるように、遊具などの公園施設の老朽化などに対応するため、より安全性に配慮した視点による点検を行うとともに、施設の補修・更新の充実により、利用者の安全の確保に努めます。

#### ②市民の憩いの場

- ◆ 利用しやすい公園を目指して、四季折々の草花、木々に囲まれた散策路・ベンチなどを工夫し、市民にとって憩いや癒しの空間として整備します。

#### ③防犯対策

- ◆ 植栽の剪（せん）定方法による死角の排除や公園灯の設置など、防犯に配慮した構造、設備、配置を工夫し、犯罪が発生しにくい公園整備を図ります。

#### ④防災機能の充実

- ◆ 緊急時における一時的な避難場所として、公園の防災機能の充実を図ります。

#### ⑤バリアフリー

- ◆ 施設や設備などのバリアフリーに配慮し、高齢者や障がい者など誰もが安全で快適に利用しやすい公園整備を図ります。

#### ⑥まちかど広場

- ◆ まちかどにおける短時間の休憩や近所同士が集う身近なコミュニケーションの場としてまちかど広場やポケットパークの整備を図ります。

#### ⑦協働による公園緑地づくり

- ◆ 利用者自ら管理することができるように、計画段階からワークショップなどにより地域の意見を踏まえ、公園緑地づくりを行います。
- ◆ 市民がより愛着を持ち公園管理ができるように、美化ボランティア制度など協働の仕組みを整えます。

## ⑧身近な公園緑地の充実

◆市内の公園緑地の多くが住宅開発により整備されており、その他には少ないため、市街地内に均一になるように公園緑地の充実を図ります。



## 基本テーマ4-4 街なか緑化の推進

### 方針の考え方

- 公園・緑地・道路などの公共施設において積極的に緑化を図ることにより、先導的に市街地の緑化を誘導し、身近に自然とふれあえるまちづくりを進めます。
- 市街地においては、公共施設だけでなく、住宅地・商業地・工業地などの敷地、さらには建築物の壁面・屋上などが貴重な緑化スペースとなります。そのため、協働による民有地の緑化を促進することにより、市街地の緑豊かな環境を創出します。

### 方針

#### ①玄関口である駅前広場への緑化

◆豊富な自然をイメージした駅前景観をつくるため、駅前広場の植栽や駅前通りの街路樹など駅前緑化を推進します。

#### ②協働による幹線道路の植樹帯などの整備

◆道路整備とあわせた植樹帯など、街なかに緑や花で癒される環境を整備します。

#### ③公共施設・観光地における緑化

◆市役所・学校などの公共施設や観光地における緑化を促進します。



日高市役所 市民プラザの桜



高麗の郷 敷地内の緑化

#### ④ 里親制度など地域ぐるみの緑化の推進

- ◆ 公園などの公共施設の緑の管理方法についても、NPOなどと連携しながら、ボランティアによる里親制度などを推進します。



ボランティアによる果道の植栽管理

#### ⑤ 地区計画制度や緑化協定などによる宅地緑化の推進

- ◆ 地区計画制度や緑化協定などを活用して緑化のルールを定め、住宅地の塀・柵の生垣化や工業地の緑地の保全・創出により、宅地緑化を推進します。

#### ⑥ 生産緑地の保全

- ◆ 市街地における緑のオープンスペースを確保するため、生産緑地の適正な保全に努めます。

#### ⑦ 農地による緑の保全

- ◆ 優良農地の計画的な保全とともに、「遊休農地」の活用方策として、「市民農園」や「観光農園」の開設を促進し、緑の保全を図ります。



## 基本テーマ4-5 健康的な生活を支えるための施設整備

### 方針の考え方

- 市民一人一人がスポーツなどを通じて楽しく健康増進や体力向上を図り、地域コミュニティが活性化するように公園などの施設整備を推進します。

### 方針

#### ① 身近で自然に親しめる公園・緑地

- ◆ 誰もが四季折々の草花などの自然に親しみ、散策・ウォーキングを楽しめるよう、市民の健康に寄与する空間としての身近な公園・緑地を創出していきます。

#### ② 運動施設の充実

- ◆ 市民が様々な形でスポーツやレクリエーションを楽しみ、健康的な生活を送ることができるように、日高総合公園や身近な公園における運動及び健康施設の機能と維持管理の充実を図ります。

### 《市民の声》

#### ★まちづくり市民会議提言

##### 【公園・緑地】

- 住宅地内に緑地空間の形成や引込線跡地の活用など、公園・緑地整備を推進する。
- 公園の管理など、まちづくりに関する市民活動を推進する。

##### 【河川】

- 河川沿いに市民の憩いの場、環境学習の場となる自然の河川状態を生かした整備を行う。
- 小畔川を軸とし、上流から下流を有機的に結び付ける。
- 小畔川水系の最上流域であることに配慮

#### ★市民アンケート意見

##### 【公園・緑地】

- 近くに公園が少ない      ○ 公園における講習会の実施      ○ 緑豊かな公園
- 遊具設置など子供が遊べる公園整備      ○ 新たに総合公園並みの公園設置
- 年齢に関係なく楽しめる公園（例：鶴ヶ島市太田ヶ谷沼公園）
- 緑豊かな自然環境を壊さないまちづくり

##### 【既存緑地・自然環境】

- 緑や自然と調和したまち      ○ 畑や森の管理      ○ 開発を進めるなら、緑地も残すべき
- 雑木林の協働による管理      ○ 農地の宅地化による緑地の減少危惧
- 巾着田整備は人為的にしない      ○ 緑・自然環境保全      ○ 自然が減ってきて心配

##### 【低炭素】

- 環境（CO<sub>2</sub>削減）をテーマに入れる

##### 【河川】

- 四反田堀川の環境対策      ○ 河川の水質改善



## 基本テーマ4-6 低炭素都市づくりへの取組

### 方針の考え方

■地球規模の環境保全に対する取組が展開される中、都市のあり方として、ますます温暖化対策や自然環境との共生の重要性が高まっています。  
本市においても、都市における居住や産業経済活動による地球温暖化を抑制し、自然環境への影響を減少させるため、様々な形での低炭素都市づくりへの取組を推進します。

### 方針

#### ①自動車利用の抑制

◆自動車によるCO<sub>2</sub>排出量削減に向けて、地球環境にやさしい交通手段である鉄道・バスなどの公共交通の利用や、自転車・徒歩による移動を促進します。

#### ②幹線道路の緑化

◆圏央道や国道・県道など道路整備や企業立地などの社会的な進展に伴い、交通量の増加に伴う環境への負荷が懸念されます。そのため、排気ガスなどによる環境への影響に配慮し、幹線道路などの緑化を図ります。

#### ③都市内緑化率の向上

◆都市全体として総合的に緑化施策を推進することにより、都市内緑化率の向上に取り組めます。

#### ④住宅・企業における省エネ対策

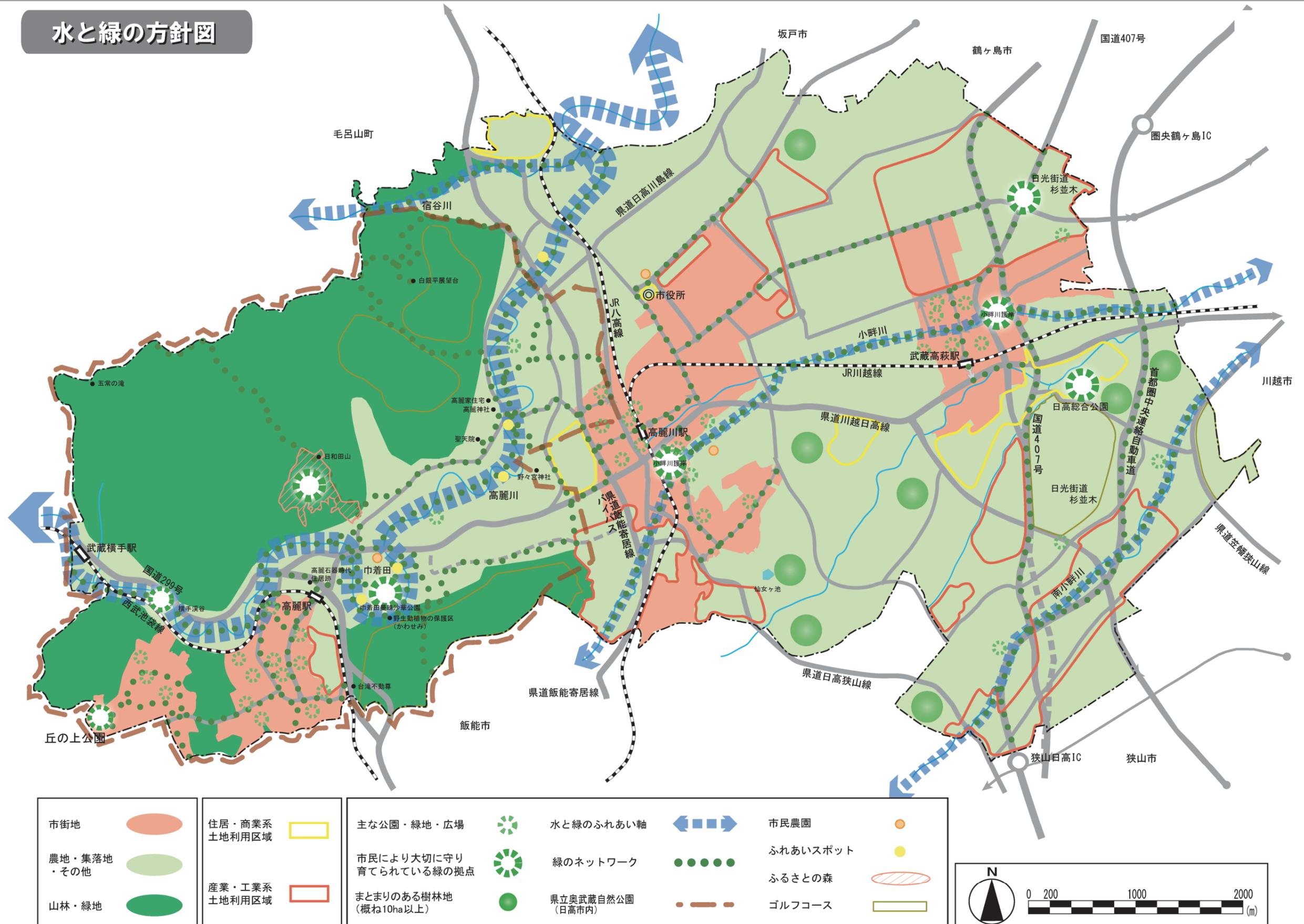
◆太陽光・風力などの自然エネルギーの活用やリサイクル燃料による発電など、住宅づくりや企業活動における省エネルギーへの取組を促進します。

#### ⑤資源循環型都市づくり

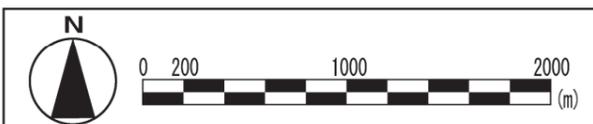
◆公共事業における再生原料の活用などにより、資源循環型都市づくりに取り組めます。



水と緑の方針図



市街地	住居・商業系土地利用区域	主な公園・緑地・広場	水と緑のふれあい軸	市民農園
農地・集落地・その他	産業・工業系土地利用区域	市民により大切に守り育てられている緑の拠点	緑のネットワーク	ふれあいスポット
山林・緑地		まとまりのある樹林地(概ね10ha以上)	県立奥武蔵自然公園(日高市内)	ふるさとの森
				ゴルフコース



施策フレーム5

『まち景観の形成方針』

景観法の制定を契機に、都市を美しくする機運と期待が高まっています。本市においても、自然・歴史・文化など日高らしい景観資源が多数残されています。

ここでは、その資源を保全・活用し、地域特性を生かした景観を形成していくため、次の2つの基本テーマにより方針を定め、施策・事業を進めていきます。

【まちづくりの基本テーマ】

5-1 自然及び歴史的・文化的景観形成 (vi-1)

5-2 地域特性を生かした景観形成 (vi-2)

※まちづくりの基本テーマの右側に記載している記号（例 (vi-1)）は、まちづくりの方針（P.25～27）に対応する箇所を示しています。

基本テーマ5-1 自然及び歴史的・文化的景観形成

方針の考え方

■豊かな自然や歴史文化などの優れた景観資源を市全体の共有財産として守り、育てることにより、親しみやすい個性豊かな景観の形成に努めます。

方針

①まちのシンボルとなる景観の保全

- ◆武蔵高萩駅駅舎と桜並木、高麗郷古民家などのように、良好な景観を創造していく上で先導的な役割が期待できる景観資源の保全・継承を図ります。
- ◆景勝地のみならず、日常の何気ない風景を大切にする観点から、地域に根ざす景観の位置付けを検討します。



春の武蔵高萩駅駅前広場（さくら口）



高麗郷古民家

## ② 歴史的・文化的景観の保全

◆高麗神社や日光街道杉並木などの歴史・文化遺産は、かけがえのないものであり、その保全を図ります。また、「歴史・文化ふれあい交流ゾーン」などについても、建築物の高さや意匠など景観に配慮したものに誘導し、歴史・文化を育んだ風景を大切にしたい景観づくりを進めます。



高麗神社



日光街道杉並木

## ③ 緑豊かな自然景観の保全

◆日和田山や巾着田など緑豊かな自然景観を保全します。また、周辺の建築物の規模・色彩などを自然環境と調和したものに誘導し、眺望を大切にしたい景観の保全・継承を図ります。

## ④ 河川景観の保全

◆市内を流れる高麗川や小畔川などの河川とその周辺に広がる緑地は、都市全体に潤いをもたらす市民の大切な景観資源であることから、河川を中心とした周辺の景観の保全を図っていきます。

## ⑤ 里山風景の保全

◆集落や農地と一体となって形成している里山風景の保全を図ります。

### 《市民の声》

#### ★まちづくり市民会議提言

- 市内に広がる里山や田園地帯の維持保全を農業との共存を図りつつ進める。
- 河川環境の維持や景観形成の向上を図る。
- 工業地の緑化をはじめ、周辺環境への配慮を図る
- 駅周辺や住宅地については、緑化を推進するなど景観形成の向上を図る。

#### ★市民アンケート意見

- 畑など昔の姿を残しつつ利便性を向上
- 高麗の観光資源の活用    ○自然を生かす    ○高麗郡の歴史を生かす
- 古い歴史も大切にしつつ画期的なまち    ○不法投棄の取り締り強化
- 自慢できる自然に優れた環境保全    ○歴史的建造物を大切に守る
- 幹線道路の街路樹    ○住宅の緑化を積極的に進める
- 「昔懐かしい…」と言える様な景観の確保    ○看板や建物の規制
- 景観に配慮した巾着田の維持管理

## 基本テーマ5-2 地域特性を生かした景観形成

### 方針の考え方

■景観は、そこに暮らす人々の営みの積み重ねにより形成され、地域住民の良好な景観形成に対する意思や努力が具現化されたものです。自然・歴史・文化などを背景に市の地域特性を踏まえ、市民との連携・協働により、個性豊かな街なみ景観の形成を図ります。

### 方針

#### ①緑が多い街なみの景観の保全と創出

◆豊かな自然環境をまちのデザインとして取り入れ、地区計画制度や建築協定などのルールづくりにより、住宅地や工業地などにおける緑化を推進し、緑が多い街なみ景観の保全及び創出を図ります。

#### ②公園など身近な景観スポットの整備

◆街なかにおける身近な景観スポットとして、公園や道路などの公共施設における緑化を積極的に推進します。

#### ③観光ルートにあわせた景観ネットワークの形成

◆地域の住民が住み続けたいと思うだけでなく、市外の方が訪れたいと思うまちづくりを進めるため、観光拠点を結ぶルートにおける景観づくりを行います。

#### ④屋外広告物の規制誘導

◆屋外広告物は、景観を構成する重要な要素です。美しい自然景観を守り、それと調和した都市景観が形成されるよう屋外広告物の規制・誘導により、より良い景観の形成を図ります。

#### ⑤協働による景観形成の促進

◆協働による景観づくりへ向けた市民活動やNPO活動など地域に根ざした活動を推進・支援していきます。

#### ⑥個性ある住宅地の創出

◆個性ある景観をもった住宅地を創出するため、地区計画制度や建築協定などにより、緑あふれるかき・さくなどを特徴とした街なみへ誘導を図ります。

## 施策フレーム6

## 『安心・安全まちづくりの方針』

本市は、幸いにして過去に大きな災害は無いものの、台風や地震などの自然災害や火災に対応するには、地域防災計画とあわせた都市計画を進める必要があります。また、犯罪の起こりにくいまちづくりも重要です。

ここでは、誰もが安心して安全な生活を営めるよう防災体制の充実や犯罪のないまちを目指して、次の2つの基本テーマにより方針を定め、施策・事業を進めていきます。

### 【まちづくりの基本テーマ】

**6-1 災害に備えたまちづくり (ii-6)**

**6-2 防犯に配慮したまちづくり (ii-7)**

※まちづくりの基本テーマの右側に記載している記号（例 (ii-6)）は、まちづくりの方針（P.25～27）に対応する箇所を示しています。

## 基本テーマ6-1

## 災害に備えたまちづくり

### 方針の考え方

- 安心して安全なまちづくりを進めるためには、災害時における被害を最小限にとどめるための準備が大切です。避難、救急、消防などの活動が円滑に行えるよう、緊急輸送道路や避難場所の確保とともに、建物の不燃化・耐震化など地区全体の防災環境の充実を目指した総合的なまちづくりを推進します。

### 方針

#### ① 防災拠点となる公共公益施設などの整備、機能充実

- ◆ 緊急時の避難場所として指定されている学校や公園などは、耐震化などの防災機能の強化を図り、避難、救援活動時に利用する機材や備蓄物資の充実を図ります。
- ◆ 地域の防災性の向上を図るため、防火貯水槽・消火栓等の消防水利・防災無線などの計画的な施設整備を促進します。

#### ② 緊急輸送道路や避難路・身近な集合場所の確保

- ◆ 都市計画道路など計画的な整備により緊急用の輸送道路や避難路を確保します。また、身近な公園など災害時の一時的な集合場所の確保を図ります。

### ③ハザードマップの活用

- ◆阪神・淡路大震災や東日本大震災などでの教訓から、大地震発生時の地震の揺れや建築物の倒壊の危険性、避難の仕組みなどを表示したハザードマップを活用し、各家庭における災害時の備えや建築物の耐震化などの意識啓発を推進します。

### ④防火・準防火地域の指定

- ◆建ぺい率の高い地域や建築物が密集した地域については、市街地火災による延焼の危険性を低減するため、「防火地域」または「準防火地域」の指定を行い、建築物の不燃化を誘導します。

### ⑤建築物やライフラインの耐震化

- ◆大規模な地震に備えて新築時の耐震化を促すとともに、老朽化建築物の耐震診断の支援及び必要に応じた改修や建て替えを促進します。
- ◆より安全なまちづくりを目指して、生垣助成制度により、倒壊の危険性のあるブロック塀から生垣などへの改修を促進します。
- ◆上水道・電気・ガスなどのライフラインの震災時における耐震性を確保します。

### ⑥公共下水道（雨水）や新たな開発行為など、効率的な雨水処理施設の整備

- ◆都市に降った雨水を排除し浸水被害を防ぐため、公共下水道（雨水）や既存施設の改良など、効率的な雨水処理施設の整備を図ります。
- ◆浸水被害の軽減と健全な水循環の環境形成を目的として、新たな開発行為などへの雨水の貯留・調整・浸透施設の設置を促進します。

### ⑦保水機能を確保するための山林などの適正な管理

- ◆管理が行われていない山林や原野などは、大雨時の水害を防ぐための保水機能の損失が懸念されることから、管理の支援制度などにより、適正な土地の管理を促進します。

### ⑧土砂災害の防止

- ◆土砂災害警戒区域等のがけ崩れのおそれのある箇所については、崩壊防止工事などの促進を図ります。

### ⑨交通災害の防止

- ◆交通弱者である歩行者や自転車利用者、公共交通利用者の安全確保のために、交通安全施設の整備を促進します。
- ◆道路については、歩道と車道の分離、街路樹の剪定や道路照明灯の設置による見通しの確保など、施設整備と改善を推進します。

#### 《市民の声》

##### ★市民アンケート意見

- 防災、防犯の強化    ○安心して住めるまち    ○雨水溝の整備    ○高齢者の防災対策

## 方針の考え方

■近年、子どもや高齢者が犯罪に巻き込まれるなど、日常生活を営む身近な場所での犯罪が増加しています。そのため、地域の安全は自分たちで守ろうという気運が高まってきています。

そこで、道路、公園などは、不特定多数の人々が利用する公共空間であるため、犯罪の防止に配慮した環境の整備を図ります。さらに、市民が安心して安全に暮らせる地域社会の実現に向けて、自主的な防犯活動を促進し、犯罪の起きにくいまちづくりを推進します。

## 方針

## ①防犯に配慮した道路づくり

◆道路については、歩道と車道の分離による安全確保、街路樹の下枝の剪定や道路照明灯の設置による見通しの確保など、施設整備と改善を進めます。

## ②防犯に配慮した公園づくり

◆公園については、植栽や樹木の剪定を定期的に行うほか、遊具などの配置についても見通しの確保に配慮します。また、照明設備の適切な設置など、施設整備と改善を進めます。

## ③住宅の防犯性の向上

◆住宅の防犯性を向上させるため、建物やかき・さくの構造、設備など、防犯性の高い住宅の普及に努めます。

## ④子どもの安全の確保

◆子どもを犯罪から守ることに配慮した通学路や子どもの見守り活動が行いやすい環境を整備するとともに、安全マップの作成、防犯教育など子どもの安全教育の充実を図ります。

## ⑤防犯パトロールなど協働による防犯体制の確立

◆「地域の安全は自分たちが守る」という意識を持った自主的な防犯活動を積極的に推進するため、自治会やPTA、老人クラブなどによる自主防犯活動への支援を図ります。

## 《市民の声》

## ★まちづくり市民会議提言

○住宅地内の狭あい道路の改善や街灯等の防犯対策を図る

## ★市民アンケート意見

○防犯灯の充実 ○駅前交番



施策フレーム7

『福祉のまちづくり方針』

少子高齢化社会を迎え、誰もが暮らしやすいまちづくりに対するニーズがますます高まっています。ここでは、高齢者、障がい者、子どもなど全ての市民が安心して快適に暮らせるとともに、誰もが平等に社会参加できる豊かで住みよいまちの実現を目指し、次の2つの基本テーマにより方針を定め、施策・事業を進めていきます。

【まちづくりの基本テーマ】

7-1 まちづくりと福祉施策との連携 (ii-3)

7-2 働きやすい環境整備 (ii-2)

※まちづくりの基本テーマの右側に記載している記号（例 (ii-3)）は、まちづくりの方針（P.25～27）に対応する箇所を示しています。

基本テーマ7-1

まちづくりと福祉施策の連携

方針の考え方

■誰もが暮らしやすいまちづくりを実現するため、まちづくりと福祉施策の連携により、高齢者や障がい者などが社会参加しながら生活できる環境を整えます。

方針

①住宅のバリアフリー化

◆高齢者や障がい者の日常生活を支えるため、住宅のバリアフリー化を促進します。

②公共施設のバリアフリー化

◆駅や駅前広場・バス施設・道路・公園・市役所・福祉施設その他の公共施設など、誰もが利用しやすい施設を目指してバリアフリー化を推進します。

③福祉施設の拡充と支援

- ◆高齢化の進展を踏まえ、デイサービスなどの介護施設の拡充ができるよう支援を行います。
- ◆保育所や学童保育施設など子育て支援施設の充実を図ります。

④高齢者の経験と知識を生かせる場の創出

◆高齢者の社会活動に対する参加意欲が高まる中、高齢者の活力と豊富な経験や知識を生かすため、社会参加できる場を創出します。

### ⑤子育ての交流施設の充実

- ◆子育て家庭が遊びを通して交流し、育児について気軽に相談できる施設の充実を図ります。

### ⑥福祉に配慮した街なみづくり

- ◆住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、低い「かき・さく」など隣近所で声のかけやすい地域ぐるみの街なみづくりを推進します。

### ⑦バリアフリー相談体制の確立

- ◆バリアフリーに配慮した施設を造る際には、実際に利用する人々にとって真に利用しやすい施設となるように、利用する市民に意見を聞く体制の充実を図ります。

**基本テーマ7-2**

**働きやすい環境整備**

**方針の考え方**

■少子高齢化社会の進展により、地域社会の活力の低下や労働力人口の減少など、経済的な影響が懸念されています。そのため、今後は、仕事と子育てが両立できる環境を整えるとともに、高齢者が生きがいを持って活躍できる場など、全ての市民が働きやすい環境を創出し、活力ある元気なまちを目指します。

**方針**

**①子育てを支援する環境づくり**

◆小学生や乳幼児を対象とした保育施設など子育てを支援する施設の充実を図り、安心して働ける環境づくりを進めます。

**②シルバー人材センターへの支援**

◆多くの高齢者の働く場所として定着しているシルバー人材センターの更なる充実のために支援します。

**③障がい者の就労を支援**

◆就労を希望する障がい者に対して就労の場や機会を得られるように、就労に必要な知識や能力向上のための訓練、就労機会の確保など、障がい者の就労の定着を図るための支援を行います。



シルバー人材センター



子育て総合支援センター「めくめく」

## 施策フレーム 8

## 『観光によるまちづくり方針』

巾着田や日和田山、高麗神社・聖天院など、市内には一年を通じて多くの行楽客が訪れる憩いの場があります。

ここでは、豊かな自然や歴史文化など都会には無い魅力を持った観光資源を活用するため、次の2つの基本テーマにより方針を定め、施策・事業を進めていきます。

### 【まちづくりの基本テーマ】

**8-1 自然・歴史環境を生かした観光魅力づくり (iv-1)**

**8-2 日高市全体を満喫できる観光施設の充実 (iv-2)**

※まちづくりの基本テーマの右側に記載している記号（例 (iv-1)）は、まちづくりの方針（P.25～27）に対応する箇所を示しています。

## 基本テーマ8-1

## 自然・歴史を生かした観光魅力づくり

### 方針の考え方

- 「住みたい、訪れてみたい」と思ってもらえることが観光面においても重要な要素です。巾着田などの豊かな自然や高麗神社などの歴史・文化を生かし、市民にとって魅力が感じられ愛着のもてるまちづくりを進めるため、観光施策と連携しながら本市における魅力づくりを推進します。

### 方針

#### ①特色を生かした観光拠点づくり

- ◆ 自然・歴史・文化などの地域特性を生かした観光拠点づくりを進めます。特に拠点周辺においては、建築物の形態や屋外広告物、かき・さくなどについて、地区計画や緑化協定などでルールを設け、観光資源を生かした街なみに誘導を図ります。

#### ②新たな観光施策などの推進

- ◆ 体の健康・食の健康・心の健康（癒し）を切り口とした観光プロジェクトの推進を図ります。
- ◆ 農業を利用した観光農園や特産物など、新たな観光資源を活用した観光施策の推進を図ります。
- ◆ ボランティアガイドなど、協働による観光のまちづくりを推進します。

**③歴史・文化の継承**

◆歴史の舞台となった地域の保護や文化の継承を図ることが観光資源の存続につながります。そのため、特に貴重な文化財や伝統などの歴史・文化の継承を図る仕組みの構築を検討します。

**④エコツーリズムの推進**

◆自然環境の保全や地域の歴史・文化を継承する意識を高めるため、体験して学ぶことを目的としたエコツーリズムの推進を図ります。



秋の巾着田曼珠沙華公園



春の聖天院



高麗神社と獅子舞

## 方針の考え方

■日高市の観光資源は、巾着田、高麗神社や小規模な拠点が市内各地に点在しているのが特徴です。特に高麗郷は、潤いのある散策空間として市民や来訪者にやすらぎをもたらしています。今後は、市内観光拠点の充実に向けて、主に高麗駅と高麗川駅を結ぶふれあい交流軸など、観光拠点をつなぐネットワークを構築し、観光客が安全に楽しみながら回遊できる環境の充実を図ります。

## 方針

## ①観光用歩行空間の確保

◆観光客が徒歩で安全に観光地を巡れるように、幹線道路の歩道や小道などの散策空間の整備を図ります。

## ②観光拠点を結ぶネットワークの整備

◆徒歩では不便な観光地を巡るための利便性向上や、観光拠点を結ぶネットワークを構築するため、観光シーズンのバス運行や自転車による快適な走行環境の整備を検討します。

## ③レンタサイクルの検討

◆駅や主要な観光地などにレンタサイクルの拠点を設けるなど、自然環境への影響に配慮した移動手段を検討します。

## ④身近な観光ルートと拠点施設の充実

◆地域の特徴的な名所や伝統文化など市民にとって身近にふれられる観光地及び観光ルートを創造します。  
◆観光拠点における休憩場所や観光をPRする場所など、誰もが訪れやすく利用しやすいように施設の充実を図ります。

## ⑤新たな観光交流施設（物産館など）の検討

◆観光客の集客力の向上と広域観光の拠点づくりのため、物産館などの観光交流施設の整備を検討します。

## 《市民の声》

## ★まちづくり市民会議提言

○自然・歴史など豊富な観光資源を生かした環境整備の充実を図る

## ★市民アンケート意見

○自然を生かす ○栗・うどを加工して売り出すなど特産品を作る

○豊かな自然を宣伝し観光につなげる ○様々な観光資源により日高への客を増やす

○道の駅をつくる ○もっと巾着田をアピールする ○豊かな自然の質を変えずに、観光を進める